

授業科目 看護倫理

【担当教員名】 本間千代子	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

看護実践の倫理的意志決定や生命倫理の諸問題に対して、医療者としてどのように対処していったらよいのかを理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 倫理とは何かを人間観を通して述べるができる
2. 医療倫理の原則を述べるができる
3. 看護倫理の原則を述べるができる
4. 倫理的ジレンマの事例から自己の考えを決定できる
5. 生命倫理の諸問題を学ぶことから日本人の生命観の特性を述べるができる
6. 看護ケアの倫理場面から自己の考えを述べるができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	倫理とは何か、誕生から死への人間観	1	講義
2	医療場面の倫理と原則	1, 2	講義
3	看護ケアのジレンマと倫理原則	1~3	講義
4	倫理的ジレンマの事例検討	1~4	G. W
5	生命倫理の諸問題と日本人の特性	2~5	講義
6	看護ケア倫理場面の事例検討	3~6	G. W
7	グループによる課題発表	1~6	発表

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	資料にておこなう			
参考書	看護実践の倫理 第2版	サラT. フライ 片田範子他訳	日本看護協会出版会	1998 2,100円 (税込み)
その他の資料	医療倫理学の方法	宮坂道夫	医学書院	2005 2,940円 (税込み)
	看護倫理のための意思決定10のステップ	ジョイスE. トンプソン他	日本看護協会出版会	2004 3,150円 (税込み)

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業中の課題の評価 10点	テーマの「問」を提示します
授業への積極的参加の度合10点	自分の意見を発表した、積極的な発言を期待します
試験 80点	